

2025 年 12 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社モバイルファクトリー
 代表者名 代表取締役 宮 島 裕二
 (コード：3912 東証スタンダード)
 問合せ先 常務執行役員 佐藤 舞子
 (TEL. 050-1743-6211)

繰延税金資産の取り崩し及び連結業績予想の修正 並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2025 年 12 月 12 日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の取り崩し、及び 2025 年 1 月 30 日付で公表いたしました 2025 年 12 月期の通期連結業績予想、並びに配当予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社は、連結決算において、子会社に対する投資に係る連結財務諸表固有の将来減算一時差異については、予測可能な将来の期間に解消される可能性が高く、当該将来減算一時差異に係る繰延税金資産に回収可能性があると判断し、繰延税金資産を計上してまいりました。

しかしながら、当該将来減算一時差異のスケジューリングを慎重に見直した結果、当該将来減算一時差異が予測可能な将来の期間に解消される見込みが低下したと判断するに至りました。このため、当連結会計年度において、当該将来減算一時差異に係る繰延税金資産 313 百万円を取り崩し、法人税等調整額に同額を計上する見込みとなりました。

2. 連結業績予想の修正について

(1) 2025 年 12 月期通期連結業績予想 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (2025 年 1 月 30 日発表)	百万円 3,470	百万円 1,020	百万円 1,019	百万円 705	円 銭 93.48
今回修正予想 (B)	3,393	1,089	1,107	456	63.24
増減額 (B - A)	△76	69	88	△248	—
増減率 (%)	△2.2	6.8	8.7	△35.3	—
(ご参考) 前期実績 (2024 年 12 月期)	3,317	1,058	1,057	699	92.20

(2) 修正の理由

売上高につきましては、概ね前回発表予想通りに推移いたしましたが、わずかに下回る見込みです。利益面につきましては、広告宣伝費の予算消化が当初の計画よりも緩やかに推移したこと等により、販管費が想定を下回る見通しとなりました。この結果、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回る見込みです。一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の増益要因があるものの、上記「1. 繰延税金資産の取り崩しについて」に記載の通り、繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額を計上することから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

3. 配当予想の修正（増配）について

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (2025 年 1 月 30 日発表)	—	20 円 00 銭	40 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	23 円 00 銭	43 円 00 銭
当 期 実 績	20 円 00 銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024 年 12 月期)	0 円 00 銭	37 円 00 銭	37 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、総還元性向 60%を目標に掲げ、累進配当を前提に、配当性向 40%以上又はDOE 7%以上のいずれか高い水準での配当を実施するとともに、配当金総額との差分については、業績、財政状態及び株価水準等を総合的に勘案し、自己株式の取得を行うことを株主還元方針としております。

当期の業績につきましては、上記「2. 連結業績予想の修正について」に記載の通り、繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みです。しかしながら、当社の株主還元方針におきましては、「事業活動に直接影響しない非定常的な特殊要因により当期純損益が大きく変動する場合は、その影響を除いて株主還元金額を決定する」旨を定めております。

今回の繰延税金資産の取り崩しは、会計上の見積りの変更に伴う非定常的な特殊要因であり、資金流出を伴うものではありません。当該取り崩しを含む特殊要因による影響を除外し、実質的な収益力に基づき配当金額を算定いたしました結果、前回発表予想から1株当たり3円増配し、期末配当金を23円(年間43円)に修正することといたしました。

※ 本資料の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上